

西部  
(浜松市)

社会福祉法人聖隷福祉事業団  
和合せいれの里



共生型福祉施設  
(指定サービス)

地域に隙間の無いサービスを。  
困っている全ての人に対応できる体制をつくる

静かな森に囲まれた広大な敷地に、特別養護老人ホームと障害者支援施設、就労支援施設などが集合している「和合せいれの里」。同じ敷地内に、障害者相談支援事業所や地域包括支援センター、ケアプランセンターの3つの窓口があるので、さまざまな相談を「ワンストップ」で対応することができます。また一般のデイサービスでは対応が難しい医療的ケアが必要な人にも対応できるデイサービスや、自宅で生活する障害のある人が、リフトバスなどの送迎を利用して食事や入浴などのサービスを受けられるなど、多種多様の支援を提供しています。福祉と医療、専門性が高い部署が連携できるのが強み。障害がある子と高齢の母親の暮らしを、ヘルパーセンターや障害者支援施設、訪問ステーションなどが連携してサポートしている例もあります。



一人一人違う「困ったこと」に対応し、その人に最適な支援を

居場所

相談サービス

共生型福祉施設(指定サービス)

メッセージ

総園長  
野村 則国さん



障害のある人が自立するためには、その人の個性に合った作業を習得すること、その作業が自宅から通える地域でできることも重要です。このような「小さなサービスの集合体」を地域に作っていくことが今後、重要だと考えています。将来的には、障害のある人と高齢者だけでなく困っている全ての人に対応するため、福祉全般を担いたいです。平成27年には、施設で働く子育て世代のため事業所内保育園を開設致しました。

ここに注目!!



障害のある人の就労支援施設「チャレンジ工房」。ベッドや車いすの洗浄消毒作業などを実習訓練しながら、一般企業への就職に向け就職活動を進め、障害のある人が地域で自立して暮らせることを支援しています。

高齢者も障害のある人も「困っていること」は一人一人違い、どこに相談していいのか悩んでしまう方も多いです。そんな多様で複雑な相談を、ワンストップ相談で対応し、それぞれの施設と連携をとっていきます。



DATA ☎(053) 478-0800  
浜松市中区和合町555

FAX / 053-476-6511  
URL / <http://www.seirei.or.jp/elderlyhome/wagou/>  
E-mail / [wagou-seirei@sis.seirei.or.jp](mailto:wagou-seirei@sis.seirei.or.jp)  
アクセス / JR浜松駅から遠鉄バス和合西山行き「浜松基地」下車、徒歩5分

駐車場 / 有  
※視察はメールでお問い合わせください



〈経緯〉  
平成11年 1号館を開設(特別養護老人ホーム、高齢者・障害者デイサービス等)  
平成15年 2号館を増設(特養、障害者支援施設、生活支援ハウス等)  
平成19年 3号館を増築(在宅サービス、ケアプランセンター等)  
平成24年 初生サテライト(特養)「聖隷厚生園チャレンジ工房」を開設  
平成25年 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業を開始  
平成26年 和合サテライト(特養)開設  
平成27年 聖隷めぐみ保育園開設  
〈運営〉  
運営主体:社会福祉法人聖隷福祉事業団  
代表者:野村 則国(総園長)

あ と  
が き

当ガイドブックは、公益財団法人さわやか福祉財団の研修・選考を経て委嘱されているボランティアリーダー、「さわやかインストラクター」の皆さんのご協力を得て企画・取材しました。

さわやかインストラクター

稲葉 ゆり子



「思い」を大切にスタートした人と、その「思い」を共有する何人もの方々と出会いました。「いつかできたら」と思っているそこに、情報が近づいた途

端、人は動き出せるのです。はじめた活動の「きっかけ」の中に、「垣根をつくらない」があるから…東の町にも西の町にも、さわやかな笑顔が現場に生まれるのでしょう。富士山を見る「ことば」は季節で、場所で、時間で変わります。が「ふじのくに型福祉サービス」は、県内に住む誰にとっても、確かな取組みだと実感しました。

さわやかインストラクター

鈴木 明与



毎朝 10 時になると手押し車を押して1人の老婦人が「おはよう」と居場所に来ます。そして、いつも決まって陽のあたる窓辺に座って編み物を始めます。

しばらくしてボランティアさんが「お茶が入りましたよ。こちらにいらっやいませんか?」と問いかけると「あんたっちの声が聞こえているから何も淋しくないよ…」と。これから地域で安心して暮らし続けるために「ふじのくに型サービス」に多くの人達が参画し、最後まで尊厳ある生活が送れるような地域ができることを願っています。

さわやかインストラクター

木下 さち子



「ふじのくに型福祉サービス」は垣根のない福祉の推進を目指し、静岡県が名づけてきました。その呼び名もすっかり浸透し、全国からも注目されはじ

め、「実践の現場見学研修会希望」が大変多くなりました。地方創生が叫ばれる現代社会において、産学官民協力しあって、「誰もが住み慣れた地域で最後まで尊厳ある生活」を送れるような「ふじのくに型福祉サービス」が県内各地に着実に生まれてきているとの実感を嬉しく思いました。

さわやかインストラクター

脊古 光子



社会構造の変化が私たちの日常生活に大きく動き出した昨今、地域性が見え隠れしていて、どの地域でも工夫を凝らした動きに心躍る思いがします。そ

の一生懸命さが心を動かし地域の人々を誘い込んでいく「ちから」となっていくことでしょうか。静岡という恵まれた風土で暮らす私たちは気持ちさえあれば『ふじのくに型』の取組には誰もが参加できる環境にあると思います。その様子は多くの事例から理解することが出来るのではないのでしょうか?特別のことではなく、普段の生活の中で自然に生まれてきているものと判断しています。